

進路だより ひらぎ

令和4年度 第5号

令和4年 11月 25日

東京都立しいの木特別支援学校

校長 高橋 昌樹

担当 進路指導部 澤口 和洋

日頃より、保護者及び関係諸機関の皆様には、本校の進路指導についてご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行いながら、第Ⅱ期現場実習が本格的に始まりました。高等部3年生は具体的な進路先を見据えた実習や面接等が始まり、気が引き締まる思いです。引き続き生徒一人一人の進路の実現に向けて、全力で支援・指導して参ります。

～中学部就業体験、高等部現場実習報告～

中学部 新型コロナウイルス感染症対策として、校内で就業体験を行いました。

10月27日(木)に、校内にて高等部作業学習の清掃班とパソコン班の見学を行った後、紙漉き班と陶芸班の体験を行いました。慣れない作業着に身を包み、見学ではとても緊張した面持ちで、先輩方の活動をしっかり見る事ができました。体験ではパルプを水に浸す作業や固まった陶芸の粘土を砕く作業、練った粘土を機械で引き伸ばす作業など、多くの作業に集中して取り組むことができました。

様々な種類の活動を見学し体験することで、働くイメージをもち、作業に取り組むためのルールやマナーを学ぶことができ、実りの多い就業体験となりました。



高等部2年生 袖ヶ浦市にある『総活躍 袖ヶ浦』で現場実習を行います。

「就労継続支援B型 総活躍 袖ヶ浦」は、JR 袖ヶ浦駅から徒歩15分程度の場所にあります。総活躍グループ全体では、全国に19箇所のB型事業所と、4箇所のグループホームを運営しており、袖ヶ浦事業所は、広々とした作業スペースを有し、ゆとりある時間を過ごすことができることを特徴としています。主な作業内容は軽作業で、封入・箸入れ・シール貼り・箱組立や、インクトナーリサイクルなどを行っています。一日の作業訓練時間は通常3時間ですが、実習当日は体験として1時間程度を予定しています。2年生3名は、実習に向けて、事業所への訪問経路や、作業内容の確認を事前学習として行い、準備を進めています。



広々とした作業スペースです。
(総活躍袖ヶ浦ホームページより)

当初11月11日(金)の実施を予定していましたが、事業所関係者の中に新型コロナウイルス感染症の陽性反応の方が確認されたため、安全を優先して実習を延期し、12月中の実施に向けて日程を再調整しております。引き続き、本校におきましても、新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドラインに準じ、感染防止に努めながら、実習に向けて準備を進めてまいります。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。